

## C F C 教科別シラバス

教科名：パソコン演習      スペシャリスト学科      70 時間/週 2 時間

### 授業の解説

コンピューターグラフィックスの基本原理を習得し、その技術を適切に利用できるようになることを目指し、Illustrator・Photoshop を使いこなすための機能を、実践を交えて進めていく。

### 使用テキスト

機能ごとのオリジナルプリント

### 使用ソフト

Illustrator C C ・ Photoshop C C

### カリキュラム・スケジュールの概略

——前期 (PhotoShop) ——

1. パス
2. 選択範囲
3. 着色設定
4. テキスト入力
5. 印刷方法

PhotoShop を使用してアパレル企業でのヴィジュアルマップを制作する。

——後期 (Illustrator) ——

1. パス
2. 線
3. 着色設定
4. テキスト入力

アパレル企業でのハンガーイラストを制作する。

## C F C 教科別シラバス

教科名：パターンメイキングⅢ スペシャリスト学科 105 時間/週 3 時間 (選択 210 時間/週 6 時間)

### 授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

- ・ 学年の前半は新文化式原型を使用したパターンメイキングの「応用編」を実施。
- ・ 後半は文化原型から離れ、業界で多用されている「有り型を利用したパターンメイキング」を取り入れる。
- ・ 2 年次の授業内容
  - ①PM 技術検定課題 (ジャケット 2 型) おパターンメイキング (授業構成比 約 10%)
  - ②新文化原型を用いたパターンメイキング…「応用編」  
コートのパターンメイキング…3 デザイン (授業構成比 約 20%)
  - ③パンツのパターンメイキング…その 2 (授業構成比 約 10%)
  - ④有り型利用のパターンメイキング (授業構成比 約 50%)
  - ⑤デザインディテールのバリエーション (授業構成比 約 10%)

### 評価基準

出席率、授業態度、提出課題、定期試験により総合的に評価する。

### 使用テキスト

- ・ すべてオリジナルテキスト (プリント)
- ・ 参考文献『スカート・パンツ』  
『コート・ケープ』 文化ファッション大系 文化服装学院編  
『スーツ・ベスト』

### カリキュラム・スケジュールの概略

#### ——前期——

パターンメイキング技術検定試験課題

- ①ジャケット A      ②ジャケット B

コートのパターンメイキング

- ①文化原型から「ジャケット原型」、ジャケット原型から「コート原型」の作成。  
②「コート原型」からストレートシルエットコートのパターンメイキング  
③A ラインシルエットラグランコート  
④ボックスシルエット P コート

パンツのデザイン表現

- ①内タック    ②外タック    ③インバーテッドタック    ④ドレープパンツ  
⑤ジーンズ風パンツなど。

#### ——後期——

「有り型」からのパターンメイキング

- ①ハイネックカラーラグランジャケット  
②ブルズーンⅠ…スタジアムジャケット  
③ブルズーンⅡ…パイロットジャケット  
④タイト原型から「パターン合成」の演習  
\*プリンセスライン原型の作成    \*シース原型の作成  
\*ハイウエストまたはオーバーオール  
\*ドレスプリンセスライン原型をジャケットに変換  
\*ジャケットのパターンメイキング…パネルラインジャケット  
\*補助ダーツ入りパネルラインジャケット  
⑤ドレープドレスⅠ    ⑥ドレープドレスⅡ    ⑦ドレープドレスⅢ

デザインディテール表現

- ①ショールカラー各種  
②ドレーピング途中での袖の作図法  
③X ブラウスなど、ひねり、ねじりのテクニック  
④QP/M など。

## C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションデザイン画Ⅲ スペシャリスト学科 70 時間/週 2 時間 (選択 105 時間/週 3 時間)

### 授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

- ・アパレルにおける服飾デザイン画に必要な速く、正確に、美しく流行を取り入れたデザイン画の描き方。
- ・時代を先取りするオリジナルデザインの描き方の養成。
- ・商品企画に直結するテーマに合わせたデザイン画の描き方。

### 評価基準

- ・目的に合ったデザイン画が、正確に美しく、決められた時間内で仕上げられるかどうか。
  - ・オリジナルデザイン画を自分の画風でうまく表現されているかどうか。
  - ・出席率、授業態度
- 以上を総合的に判断する。

### 使用テキスト

『ファッションデザイン画』文化ファッション大系 文化服装学院編  
その他関連するプリント配布

### カリキュラム・スケジュールの概略

#### ——前期——

- ・就職対策 (デザイン画速描き…時間、テーマ設定)
- ・外部コンテスト対策 (創作デザイン…いろいろな角度からテーマを設定)

#### ——後期——

- ・外部コンテスト対策 (創作デザイン)
- ・テーマによるデザイン画 (メンズ、チルドレン、レディス等のコーディネートデザイン画)
- ・CFC ファッション画コンクール

課題 No.1～ No.24

創作課題 ①～⑭

## C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションビジネス論Ⅲ スペシャリスト学科 70 時間/週 2 時間

### 授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッション業界の現状と変化を的確にとらえ、今後の業界の変化に対応するための知識を習得させる。

### 評価基準

出席率・授業態度・定期試験により総合的に評価する。

### 参考文献

- 『ファッション販売』(株)商業界
- 『織研新聞』
- 『ファッション週刊誌 WWD ジャパン』

### カリキュラム・スケジュールの概略

#### ——前期——

- ・小売業の機能と種類
- ・アパレルの機能と種類
- ・現在の業界の状況
  - ファッション業界のアウトライン
  - ブランド・商業施設のポジショニング
  - インバウンドについて
  - 商社について
- ・業界用語

#### ——後期——

- ・現在の業界の現状
  - 世界のアパレル
  - C S R（企業の社会的責任）について
  - E C マーケットについて
  - サステイナブルについて
- ・F B のパラダイムシフト
- ・品質管理について
- ・P L 法について

## C F C 教科別シラバス

教科名：マーチャндаイジグ スペシャリスト学科 35 時間/週 1 時間

授業の解説 (担当者はアパレル企業での実務経験者)

現在の市場をリードする消費者の世代に焦点を当て、その年代を調査、マーケットリサーチをした上で、オリジナル商品を企画立案し、MD 計数の提案を企画書からプレゼンテーションするまでの一貫した流れの中で習得・理解させる。

- ・今年度はアラフォー世代

評価基準

出席率・授業態度・課題提出物・プレゼンテーション能力により総合的に評価する。

使用テキスト

- 『アパレルマーチャндаイジグ』ファッション教育社
- 『ファッションニュース』(株)インファスパブリケーションズ

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・対象世代の分析
- ・対象世代のシヨップ マーケットリサーチ
- ・ブランドイメージ企画
- ・ターゲットイメージ企画
- ・年間売上を想定して計数企画
- ・シーズン企画
- ・アイテム展開企画
- ・プレゼンテーション

## C F C 教科別シラバス

教科名：構成講義Ⅲ      スペシャリスト学科      35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当者はアパレル企業での実務経験者）

- ・ 特殊素材の知識と扱い方について講義する。
- ・ 縫製テクニックをデモンストレーションし、高度なテクニックを理解させる。
- ・ 理解度を測るため部分縫いを製作してもらう。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編  
『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』 }

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

プリーツスカート（ファスナー明き、プリーツ計算法）  
薄物（シフォンジョーゼットとオーガンジーの縫い代始末の種類）  
伸縮素材  
トリミング  
レース（ケミカルレースの扱い方）

——後期——

ベルベット（起毛素材の扱い方）  
皮革  
毛皮  
リバーシブル  
くせとり

## C F C 教科別シラバス

教科名：構成実習Ⅲ      スペシャリスト学科      175 時間/週 5 時間

### 授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

各アイテムに合わせ、デザイン→素材選び→パターンメイキング→カッティング→縫製のより高度な知識と技術の習得を計る。  
実習物を通して、より美しいシルエットでバランスのいい美的構成力を磨かせる。

### 評価基準

出席率、授業態度、課題提出物の完成度、プレゼンテーションにより総合的に評価する。

### 使用テキスト

『スーツ・ベスト』  
『スカート・パンツ』  
『コート・ケープ』  
『ブラウス・ワンピース』  
『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』  
『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』

} 文化ファッション大系 文化服装学院編

### カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・デザインジャケット  
一重仕立て・・・デザイン、素材などに合わせてプライスを考慮しての縫製
- ・オリジナル作品  
様々な素材に合わせたパターンから作品へ落とし込む
- ・ニット作品  
ニット独特の持ち味を生かした縫製を習得
- ・MD作品  
MDの授業で作成した企画書の中から1点)

——後期——

- ・卒業研究作品
- ・C F C ファッションコンテスト作品

## C F C 教科別シラバス

教科名：職業指導Ⅲ スペシャリスト学科 35 時間/週 1 時間

### 授業の解説

就職活動の本番を迎え、タイムリーで具体的な指導とアドバイスが基本。  
集団指導と個人指導を並行して進めることで、全体の流れを確認しつつ、自分の個性に  
マッチングする企業の選択と受験、内定をスムーズに行う。

### 使用テキスト

『専門学校生のための就職内定教科書』日本能率協会マネジメントセンター

各種就職試験問題集

### カリキュラム・スケジュールの概略

1. 就職活動のスケジュール、進め方
2. インターネットの活用法（企業情報の収集、エントリーの方法）
3. エントリーシート、履歴書の書き方
4. 会社説明会、会社訪問について
5. 面接試験対策
6. 一般常識試験対策
7. 企業別専門（実技）試験対策
8. 内定から入社まで
9. 継続的な求人紹介と個別相談

## C F C 教科別シラバス

教科名：素材論Ⅲ      スペシャリスト学科   35 時間/週 1 時間

### 授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ガーマントにおける素材の差別化が重要になりつつある現在、2年間の基礎編の上に立って現場に活かせる応用編を半年間行う。

講義授業で可能な方法で、現在の学生の弱点である素材とシルエット、デザインとの関係を大きな習得課題とする。

また、トレンドと素材との関係、業界の現状と素材の手配について、内定先や内定職種との関係で理解し、卒業前や卒業後に情報収集を行い素材を含めた広い視野で判断ができる能力を身につけさせる。

### 評価基準

定期テスト、出席率、授業態度、により総合的に評価する。

### 使用テキスト

『テキスタイルハンドブック』 文化学園文化事業局

織研新聞、WWD他業界関連発行物

世界イベント（PV・MU）や世界トレンド情報会社のHPをPCで紹介

その他プリント、多数の素材サンプル、ハンガー、製品サンプルを使用

### カリキュラム・スケジュールの概略

1. 2年間の復習
2. 2017 A/W の素材トレンドとデザインの関係
3. 素材産地と物づくりの関係、産地の現状
4. 海外生産の現状
5. ファッショントレンドと素材トレンドと店頭の関係（2018 A/W ・ 2019 S/S）
6. 新素材の紹介

## C F C 教科別シラバス

教科名：創作デザイン画Ⅲ

スペシャリスト学科

(選択 105 時間/週 3 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ファッションデザインの発想と表現方法などに関する知識と技術を習得する。

評価基準

出席率、授業態度、提出課題、試験により総合的に評価する。

使用テキスト

参考文献：FASHION DESIGN BASICS

FASHION DESIGN RESOURCE

カリキュラム・スケジュールの概略

テーマ：自然

アート

テキスタイル

民族衣装

自由

・デザイン発想試験

テーマ：自由

イメージマップ・コラージュマップ・デザイン画・ハンガーイラスト

## C F C 教科別シラバス

教科名：卒業研究      スペシャリスト学科      105 時間/週 3 時間

### 授業の解説

自ら選んだテーマを研究し、オリジナルデザインにまとめた 2 体の作品を製作する。

- ・各自で決めたテーマの情報を収集する。
- ・収集した情報（資料）を整理・分析する。
- ・分析結果から新しい結論（オリジナルの理論）を導き出す。
- ・結論に基づき卒業研究作品を 2 体製作する。

### 評価基準

テーマに基づき調べた内容に対し、自分なりに考え新しい答えを導き出し、如何に完結できているか。製作作品を最終プレゼンテーションにて発表。ファイルと総合的に評価する。

### 使用テキスト

- ・C F C 独自のフォーマット
- ・図書館、インターネット情報、他

### カリキュラム・スケジュールの概略

#### ◎テーマ決定（各自研究&製作したいもの）

- ・表紙
- ・コンテンツ
- ・はじめに
  - 各自が何故“テーマ”を決めたのか、興味を持った発端を表現する—
- ・研究内容・デザインへのプロセス
- ・卒業製作のデザイン画 2 点
- ・1/2 縫い代つきパターン
- ・素材（表布・裏布・芯・糸・テープ・ブレード・e t s）添付
- ・マーキング
- ・ソーイングテクニック
- ・終わりに
  - 自分なりの研究がどれ位納得できて、完結したかなど—
- ・裏表紙      参考文献・出版社名・著者名

#### ◎ 作品製作 1 体

#### ◎ デジタルコンテンツ（パワーポイントを使用して製作した映像）

- ・単にファイルを取り込むのではなく、効率よくインパクトのあるプレゼンになるように映像を作る。

#### ◎ プレゼンテーション

- ・調べた内容に対する自分なりの考えを、時間内に自らの言葉で発表する。

## C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断Ⅲ      スペシャリスト学科      105 時間/週 3 時間

### 授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

1～2年の題材を基盤とし、各種アイテム、ディテールを既製品サンプルを参考にアパレルメーカーのパタンナーとしての技術、表現方法をファーストパターンまで指導する。

### 評価基準

- ・デザイン画やサンプルに対しシルエット、ディテール、ゆるみを的確にとらえ表現できているか。
  - ・地の目、ピンの扱いが適正であるか。
  - ・出席日数、授業態度、定期試験
- 以上を総合的に評価する。

### 参考文献

- 『立体裁断 基礎編』文化ファッション大系 文化服装学院編  
『パターンメイキングの原理』大野順之助著  
『近藤れん子の立体裁断と基礎知識』モードエモード社

### カリキュラム・スケジュールの概略

- ・デザインスカート（ex. ハイウエスト切り替えのフレアースカート）
- ・ジャケット（PM2 級参考デザインより 1 型）
- ・デザインワンピース（ex. ドレープ、ウエスト切替タック）
- ・コレクションより 1 型
- ・オリジナルデザイン（ワンピース、スーツ以上）
- ・学年末単位認定試験